

米納津隕石

米納津村富永に天保8年（1837）7月14日に隕石が落下。この隕石は、日本の隕石中で、第二位の大きさをもつ（重量31.65kg）。

明治32年（1899）、帝国博物館の依頼により、パリ大博覧会に日本の陳列品として出品され、現在は東京上野の国立科学博物館（地球館の地下3階南翼フロア）に「米納津隕石」として展示されている。

落下地点には、米納津隕石落下地記念碑が建っている。

また、長善館史料館でも模型が展示されている。

